



煉獄さん、失礼します。

湯あみは済んだか？

うむ、入るといい！



は...

おいで



ハッ



ドキドキ
しちゃうわ...

ついに
煉獄さんと...



ハッハッハッ...♡♡

ハッハッハッ...

ハッハッハッハッハッ

ハッハッハッハッ

ハッハッハッハッ

ハッハッハッハッ

甘露寺

育手が
弟子に
手を出すなど、

本来あつては
ならない事態だ。
不甲斐なく思う。

だが、
君がそれを
望むのならば

俺はもう
躊躇はしない。

心の赴くままに
従うと
決めている。

そうと決めたら
もう後戻りは
出来ない。

だから、
甘露寺。

最後に聞くが、

本当に

俺で
いいのだろうか。

煉獄さん、
いつになく
慎重だわ…

そんな
煉獄さんも
素敵…

はい…

煉獄さんが
いいんです…

あの時から
ずっと、
この気持ちは
変わっていません…

煉獄さんは
私の性格を知って
心配してるのかも
しれません…

こんなに
誰かを愛おしいと
想ったことは
ないです…

煉獄さんが
大好きです…!!

愛い…

お互い
初めての事だ。

もちろん、
出来る限り
慎重に事を
進めるが、

君の体に
無理は
させたくない。

嫌なことが
あったら
言っしてほしい。

煉獄さんたら
なんて優しいの…
ますますキュンと
しちゃう♡

はい…

甘露寺、

ひゃ…







あぁっ

きゃっ!!

甘露寺、
どうした？

怖くなって
しまったか？

ホッ

ホッ

ぼも



ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ひゃあああああ
煉獄さん!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ...

ちゅ

ちゅ

煉獄さんの舌...
分厚くて
呑み込まれそう...

ちゅ

ちゅ

ちゅ



違います……っ

幸せで……

煉獄さんと
こうなれたらいいと
ずっと
願っていました。



煉獄さんと
一緒なら
怖いことなんて
ありません……

甘露寺……っ

好きだ……

君が
堪らなく
愛おしい……



大丈夫か、
甘露寺

少し
飛ばし
すぎたか……？

はい……♡

なんだか、
いつもの
煉獄さんと違うので……
ドキドキしちゃって……

それも
そうだろう。

好いた女を
初めてこの手で
抱くというのは、

いつもの
調子で
いられるわけが
ないだろう？

好いた、女って……



ああ、

何度も
言うようだが…

実感が
湧かないと
言うのならば、

何度でも
告げよう、



甘露寺、

君が
好きだ。

あ…



煉獄さん…

大好き…





えっえっそんなこと
聞くの…？
煉獄さんたら大胆…♡





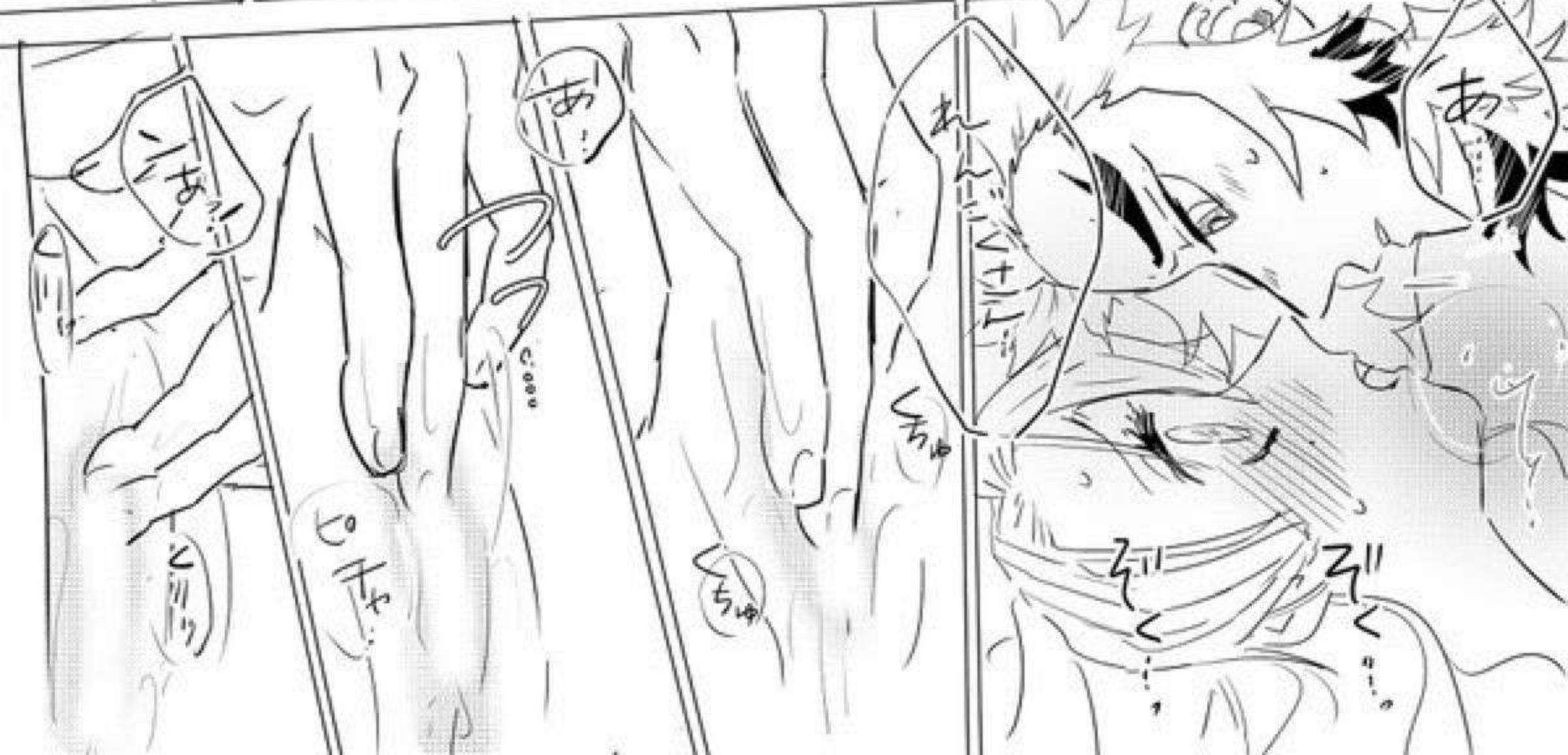


わたしっ……
体がビクビクして
おかしく
なりそうです……

れん……くち……

大丈夫だ、
そのまま
身を委ねている
嫌だったら言ってくれ。







今までにない反応だな...

こいつがいいのか？

甘露寺...

あー
ぐわー



溢れてくる...

ぐわー...
ぐわーぐわー

あー
ぐわー
ぐわー



れん...
ぐわー...

そろそろいいだろうか...

ぐわー



甘露寺、

指を入れて少しずつ慣らしていく。痛かったら言ってくれ。いいな……？

ふあ……



はあ……ん……

ちゅぷ！



痛くないか

はあ……ん……

だいじょうぶです……

ああ……煉獄さんの指……太くて温かくて……どうにかなりそう……





だが、
これで...

少しは
和らぐだろう。

ちゅ

ちゅ

ふっ...

ふっ



ズ

ほま...

ぐ

みち

ぐ



甘露寺

今度はどうだ、
痛みはないか。

はい...っ
大丈夫ですう...

甘露寺...

ん...あ

熱いな...
指が溶けそうだ

ん

ズ





大丈夫だ、

そのまま……

ああ！

あ、

あ、

大丈夫か。

甘露寺……

達したのか……？

あ、

だ、





入れても
いいだろうか……

そろそろ
限界だ……

甘露寺

すまない



愛い……

甘露寺……



はい……

わ、私も……
煉獄さんと
一つに
なりたいです……



あめたっ

す
る
す
る

力を
抜いていてくれ……

はい……

ついに私……
煉獄さんと
結ばれるのね……



ちゅん

ん

＝

ちゅん

あ



ちゅん



甘露寺、

痛いのか

だい……

じょうぶな……
ですう……

やめないで
ください……



十分に
解したと
思ったのだがな……

やはり、
痛むのだな……

平気です……
このくらいの
痛み……

それを分かって、
私が望んだ
ことですから……

幸せな
痛みです……





このまま
止められそうに
ない...ッ

すみません...!
甘露寺...!

あー

あー

あー



あー

みー

70

あー

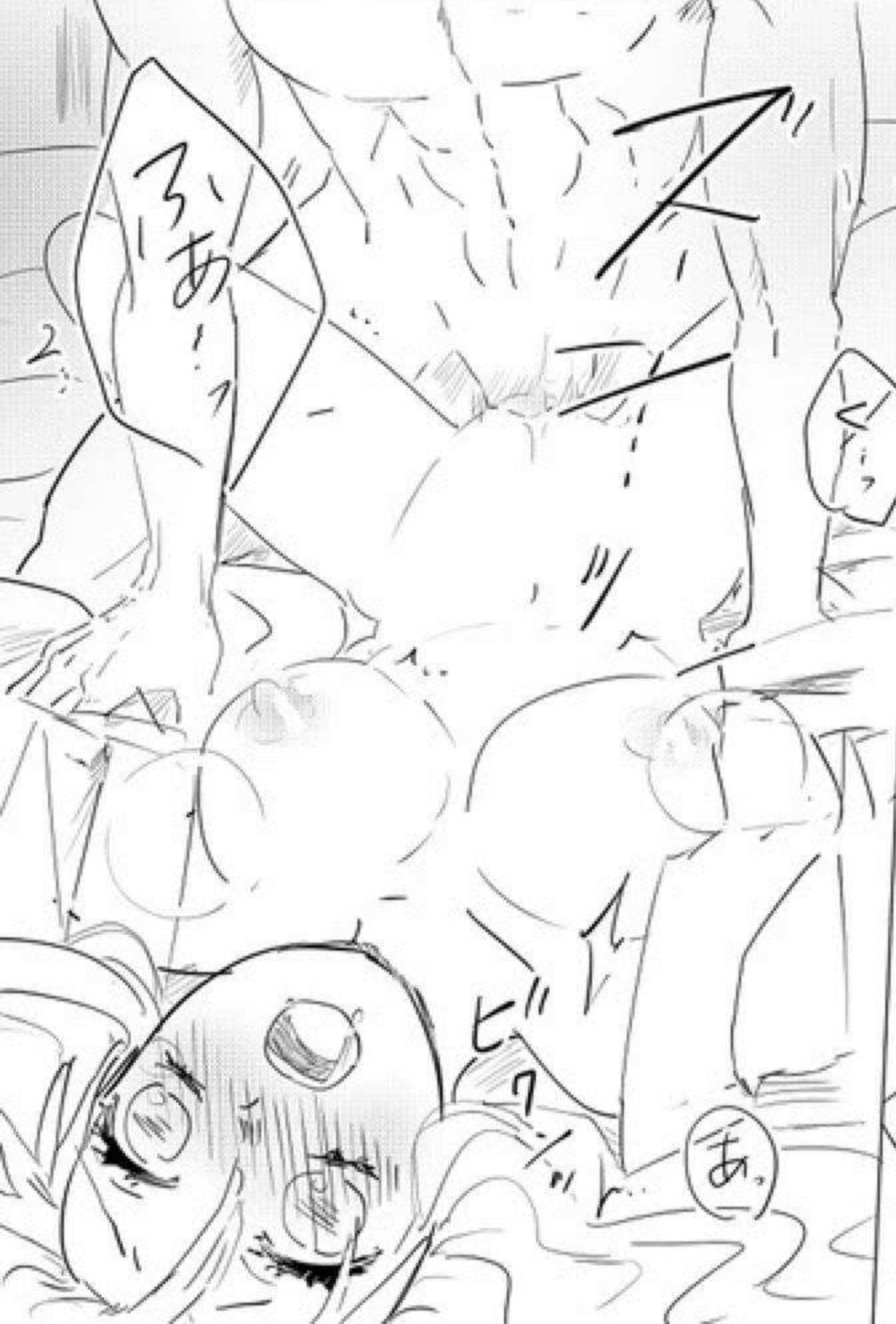
あー

全部
入ったぞ

大丈夫か

夢みたい...















煉獄さん……♡

ドキ♡

昨夜は無理をさせた。

ドキ♡

体は大事ないか。

はっ

はい……

……本当か？

ふ……杏寿郎と呼んでくれるのではなかったか？

蜜璃。

蜜璃……

はい





きや〜…
昨日の事
思い出しちゃうって…
ドキドキしちゃう…

はい…
確かに少し
痛みますが…

杏寿郎さんと
結ばれた
証ですから…



幸せです…



…そんなことを
言ってくれるな。

また
君を抱きたく
なってしまう
だろう。



…なんてな！
冗談だ！

そう無理は
させまい！



今日は君も
休みだろう！

君が食べたいと
言っていた
甘味を
食べに行かないか？

え、ええええ！
冗談…？
冗談でそんな…！

大胆で
男らしくて…
ますます
きゅんとしちゃう…

蜜璃

は、
はい…！

なんだか
お腹が空いて
きちゃいました…！

それも
そうだろう！

ハハハハ！